

# 政策シート

## 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 01 ごみ減量推進費

### 1 基本情報

#### (1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

<b>理想の姿 (30年後)</b>	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
------------------------	---

<b>政策の柱 (10年後)</b>	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。
------------------------	--

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

#### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

・ごみの減量と資源化を促進するため、本市のごみ処理の基本計画である「浜松市一般廃棄物処理基本計画」の改定を行う。  
 ・市民と連携してごみの減量を推進するため、環境美化推進員等を対象に研修会の開催や小学校での「こどもモットイナイ大作戦」の実施を行うほか、SNSの活用によるPR活動の充実を行う。  
 ・資源物の回収を促進するため、古紙類・古着類等を回収した団体に対して資源物集団回収協力金を交付する。また、家庭系もえるごみの35%を占める生ごみの排出量を減らすため、堆肥化容器の無料配布や生ごみ処理機の購入費補助を行う。  
 ・不当に排出される事業系廃棄物を削減するため、市内事業者に、事業系廃棄物の適正処理について直接周知する。  
 ・家庭や飲食店等に食品ロスの削減に向けて周知啓発を行う。  
 ・大規模災害に備え、速やかに災害廃棄物への対応ができるよう災害廃棄物処理計画等の見直しや仮置場等の検討・整備を進める。

#### (3) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費							
--------	--	--	--	--	--	--	--

#### 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	135,200	133,871	147,655			
決算	117,323	110,055				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	96,700	96,700	110,700			
年間経費(予算又は決算+A+B)	214,023	206,755	258,355			

#### 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
一人1日あたりのごみ排出量	g	目標	863	860	857	855	853	851
		実績	864	832				
リサイクル率	%	目標	24.6	26	27	28	29	30
		実績	18.9	18.8				
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(令和2年度)政策評価

##### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

・2020年度までに政令指定都市の中で家庭系ごみの排出量が一番少ない都市を目指し、平成30年7月から令和3年3月まで自治会と連携して「ごみ減量天下取り大作戦」を展開した。  
 ・ごみの減量を推進するため、自治会を対象としてごみ減量天下取りセミナーを開催したほか、各種イベントでのPR活動やごみ減量に関連する事業を行った。  
 ・資源物の回収を促進するため、古紙類・古着類等を回収した団体に対して資源物集団回収協力金を交付した。また、家庭系生ごみの排出量を減らすため、堆肥化容器の無料配布や生ごみ処理機の購入費補助を行った。  
 ・「浜松市一般廃棄物処理基本計画」の改定に着手した。

##### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
------	------

・ごみの減量化、リサイクルへの取組みを推進するために自治会や団体を対象に説明会を106回(2,544人)実施した。コロナ禍のため各種イベントやPR活動については、オンライン配信やホームページなどを活用しごみ減量やリサイクルについて幅広い世代へ周知啓発した。  
 ・区役所、協働センター等で古紙古着、使用済小型家電、廃食用油など資源物回収を実施した。令和2年7月からすべての区役所協働センターで雑がみ回収を開始し、市民のリサイクル事業を推進した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ減量・リサイクル推進事業	○	○	○		164,303	128,183	4.8			0.9	
2	ごみ減量推進運営経費	—	—	—		94,052	19,472	10.1	1.0		0.1	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						258,355	147,655	14.9	1.0		1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 01 ごみ減量・リサイクル推進事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

市民との協働により、家庭から排出されるごみの減量施策を推進し、持続可能な資源循環型社会の構築を目指す。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S55	-	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	○	(施策)	III-5(2)ウ				
重点戦略	○	(戦略項目)	129	130	131		

#### (4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費							
事業とゴールの関連性	ごみ減量、リサイクル事業を推進し、資源保護や地球環境保全の促進及び循環型社会の形成を図る。						

### 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	126,437	120,192	128,183			
	決算	109,806	103,288				
	国・県支出	1,445	1,748	3,632			
	市債						
	その他	45,000	44,000	28,000			
	一般財源	63,361	57,540	96,551			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		36,820	36,120	36,120			
人工	正規	4.9	4.8	4.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	0.9	0.9			
年間経費(予算又は決算+A+B)	146,626	139,408	164,303				

### 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
ごみの総排出量(t)		130	目標	248,724	246,378	244,733	243,071	242,016	239,643
			実績	253,821	243,046				
一人1日あたりのごみ排出量(g)		-	目標	863	860	857	855	853	851
			実績	864	832				
リサイクル率(%)		-	目標	24.6	25.7	26.8	27.9	28.9	30.1
			実績	18.9	18.8				
一人1日あたりの家庭ごみ排出量(g)		129	目標	420	350	350	350	350	350
			実績	495	504				
学校連携事業 参加児童数(%)		131	目標	45	48	50	52	53	55
			実績	41.11	33.76				

(管理番号)

令和3年度	分野 04	基本政策 01	政策 03	予算費目 01	所属コード 001505000	事業 01	(担当課) ごみ減量推進課	(責任者) 鈴木 浩之	(基準日) R3.7.1
-------	----------	------------	----------	------------	--------------------	----------	------------------	----------------	-----------------

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目 No.129、130、131】

2020年度までに一人1日当たりの家庭系ごみ排出量が最も少ない政令指定都市を目指して、ごみ減量天下取り大作戦を実施する。

○生ごみダイエツト作戦

・たい肥化容器の無料配布や生ごみの水切り・ひとしぼりの実践を呼びかけて、家庭系生ごみの減量を図る。

○雑がみ救出作戦

・すべての区役所・協働センターに雑がみ回収拠点を設置する。

○モツタイナイ作戦

・小学校での「こどもモツタイナイ大作戦」の実施や、市民向けにオンラインでエコレシピ料理教室やエコレシピ料理動画を配信し、食品ロスの削減を図る。

・ホテル・飲食店等へのポスター配付等を通して、食品ロス削減を呼びかけ、食品ロス削減協力店として登録する。

○その他

・ごみ減量天下取り大作戦会議及び研修会等を開催して、環境美化推進員と連携してごみ減量啓発を実施する。

・自治会や市民を対象にごみ減量に関する説明会やイベントを開催して、大作戦の取組実践を呼びかける。



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・生ごみの水切り・ひとしぼりの実践を呼びかけを行い、「やらまいか！水切りプレス」を9,108個を配布した。

・小学校への生ごみ減量・食品ロス削減のため、小学生を対象にこどもモツタイナイ作戦事業を開催した。(14,404名参加)

・すべての区役所・協働センターに雑がみ回収拠点を設置した。(74箇所)

・令和2年5月に「浜松市食品ロス削減協力店」実施要綱を策定し、10月の食品ロス削減推進月間に合わせて、上記協力店向けアンケートの実施と、啓発物品(ポスター)を配付した。(223店舗)

・環境美化推進員を対象に研修会を開催して、環境美化推進員と連携してごみ減量の啓発を実施した。(研修会:3会場・受講者283人)

・自治会等を対象として説明会を開催して地域住民に対してごみ減量天下取り大作戦の取組実践を呼びかけた。(106回 2,544名)

・予定した事業は実施したものの、ごみ減量天下取り大作戦で掲げた目標値については達成が出来なかった。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・令和元年10月に食品ロス削減の推進に関する法律が施行され、食品ロス対策への具体的な取組が求められている。

・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、飲食業界へ多大な影響が出ており、事業系ごみの排出量減にもつながっている。一方、巣籠りやテレワークなどの影響で家庭系ごみの排出量は増加している。

・事業実施においても引き続き感染症対策を考慮し実施する必要がある。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・市民にとって身近な区役所・協働センターに雑がみ回収拠点を設置し雑がみのリサイクルを推進した。

・エコレシピを活用した料理教室や料理動画をオンラインで配信し、市民に食材の使い切りの意識啓発を行った。

・中学校でごみ減量に関するチラシを配布し、環境教育の一環として食品ロス削減の推進を図った。

・コロナ禍による事業者への影響を考慮し、より実効性のある取組が求められている。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・令和元年度、令和2年度に食品ロスに対する知識、実践方法について周知啓発してきた。令和3年度は市民に対しより効果的に発信するために積極的にデジタルツールを使用して事業を展開していく。

・リユース容器や利用者が持参したマイボトルやマイカップでの商品提供などに取り組む事業者を「脱プラスチック推進協力店」として登録する制度を設け、広く周知し、市民や他の事業者の意識啓発を図る。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目 No.129、130、131】

2020年度までに一人1日当たりの家庭系ごみ排出量が最も少ない政令指定都市を目指して、ごみ減量天下取り大作戦を実施する。(ごみ減量天下取り大作戦自体は令和2年度で終了したが、以下の取組みで指標の達成を目指す。)

##### ■家庭系ごみの減量及びリサイクルの推進

・堆肥化容器の無料配布、生ごみ処理機購入費補助事業を実施し家庭系生ごみの減量を図る。

・資源物集団回収団体の活動情報をホームページに掲載する。

・資源物の拠点回収の回収場所や品目などの情報を地図情報サイトやリサイクル拠点マップで情報発信する。

・小学校での「こどもモツタイナイ大作戦」の実施や中学校でごみ減量に関するチラシの配布など、環境教育の一環としてごみ減量の推進を図る。

・エコレシピ料理動画を配信し、家庭での実践につなげ食材の使い切りの意識啓発を行う事業を実施する。

・自治会から選出された環境美化推進員の育成と、連携によるごみ減量啓発を実施する。

・令和元年度に実施したエコレシコンテストで応募されたレシピを活用した料理教室を開催し、食品ロスの削減を図る。

・リユース容器や利用者が持参したマイボトルやマイカップでの商品提供などに取り組む事業者を「脱プラスチック推進協力店」として登録する制度を設け、広く周知し、市民や他の事業者の意識啓発を図る。

##### ■その他

・自治会や市民を対象にごみ減量に関する説明会等の開催やSNSを活用した啓発活動を行い、ごみ減量の取組実践及びプラスチックごみ削減について呼びかける。

## 補助シート (重点戦略 事業工程表)

(事業名) 01 ごみ減量・リサイクル推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
129	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・自治会や環境美化推進員との協働による家庭系ごみの減量推進事業の実施	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・自治会や環境美化推進員との協働による家庭系ごみの減量推進事業の実施	・自治会や環境美化推進員との協働による家庭系ごみの減量推進事業の実施	・自治会や環境美化推進員との協働による家庭系ごみの減量推進事業の実施
130	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・家庭系ごみの減量推進の実施 ・事業系古紙搬入規制 ・市民と事業者が連携して取り組む食品ロス対策の検討、実施	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・家庭系ごみの減量推進の実施 ・事業系古紙搬入規制 ・市民と事業者が連携して取り組む食品ロス対策の実施	・家庭系ごみの減量推進の実施 ・事業系古紙搬入規制 ・市民と事業者が連携して取り組む食品ロス対策の実施	・家庭系ごみの減量推進の実施 ・事業系古紙搬入規制 ・市民と事業者が連携して取り組む食品ロス対策の実施
131	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・水切りの推進や食品ロスを削減するための学校連携事業の実施	○ごみ減量天下取り大作戦の展開 ・水切りの推進や食品ロスを削減するための学校連携事業の実施	・ごみ減量や3R推進のための学校連携事業の実施 ・脱プラスチック施策の実施	・ごみ減量や3R推進のための学校連携事業の実施 ・脱プラスチック施策の実施

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	01	001505000	02	ごみ減量推進課	鈴木 浩之	R3.7.1

# 事業シート (事業名) 02 ごみ減量推進運営経費

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

・循環型社会形成のための推進計画や一般廃棄物処理に関する処理計画及び許可事務等を通して全体的な調整を行う。  
 ・ごみ減量推進費の業務を円滑に運営する。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S62	-	一般会計	自治事務(その他)	

### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
事業とゴールの関連性	・市内事業者にて、チラシ発送等により、事業系廃棄物の適正処理について直接周知する。 ・清掃工場で、産業廃棄物や搬入不適物が混入されていないか展開検査を継続実施する。 ・事業系古紙の搬入規制を継続実施する。 ・生活環境改善活動功労者表彰制度により、ごみの減量・リサイクルの推進やごみの分別収集への協力等の活動を行った団体及び個人に対して表彰を行い、ごみの発生防止、削減、再生利用を啓発する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	8,763	13,679	19,472			
	決算	7,517	6,767				
	国・県支出						
	市債						
	その他	490	160	480			
	一般財源 一般会計繰入金	7,027	6,607	18,992			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		59,880	60,580	74,580			
人工	正規	8.0	8.1	10.1			
	再任用(h31)	1.0	1.0	1.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		67,397	67,347	94,052			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行う。
- ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行う。
- ・事業系一般廃棄物減量施策について、事業系廃棄物の適正処理・減量のパンフレットを作成し、許可業者等へ配布する。
- ・生活環境改善活動団体及び功労者に対する表彰制度に基づき、優良な団体及び個人に対して表彰を行う。
- ・一般廃棄物処理基本計画の見直しに係る事前調査を実施。
- ・大規模災害が発災した場合に備え、早急に仮置場を開設できるように事前準備を行う。
- ・浜松市清掃公社、全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議等との連絡調整を行う。

#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・一般廃棄物処理業許可事務 更新許可:16件、一般廃棄物再生利用業指定事務 延長指定:3件
- ・事業系一般廃棄物減量施策の実施  
大規模建築物から排出される廃棄物の現状把握と減量・資源化・適正処理の意識を高めてもらうため、同所有業者に対して関係計画書の提出と管理責任者の選任を求めると同時に、立入検査を実施した。R2年度は、コロナ禍を考慮し、市関連施設を優先的に実施した。計画書提出数:367件、立入件数:30件
- ・生活環境改善活動団体及び功労者を表彰(受賞者:9団体・15個人)したが、受賞者の安心・安全の観点から授賞式は中止とした。
- ・一般廃棄物処理基本計画の見直しに係るごみ排出量の将来推計や改定作業を行った。
- ・災害廃棄物処理に係る研修会への参加と庁内研修会を実施したが、Web会議形式での開催等により研修内容に制約があった。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・コロナ禍で事業を実施するにあたって、実施方法等を検討する必要があった。

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・事業者は、事業系廃棄物を一般廃棄物又は産業廃棄物の区分に応じて適正処理しなければならないが、家庭ごみの集積所に違法に排出される事案が発生している。
- ・一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行った。
- ・大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行った。
- ・委託により、一般廃棄物処理基本計画の見直しに係るごみ排出量の将来推計を行った。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・一部の事業者が、事業系廃棄物の適正処理に係る法制度を認知しておらず、不当排出につながっているため、指導・周知を進める。
- ・家庭系ごみ、事業系ごみについて、現状把握とごみ減量化策の検討のため、委託により本市のごみ質分析調査を行う。
- ・「浜松市一般廃棄物処理基本計画」の見直し作業を行い、計画内容を理解していただけるよう、市民に計画改定を周知する。

#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・事業系一般廃棄物の減量・適正処理や不当排出防止に関する啓発チラシを作成し、市内全事業者に対して送付する。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理業の許可及び一般廃棄物再生利用業の指定等に係る事務を行う。
- ・浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者に対する計画書の提出義務付けや立入検査等の事務を行う。
- ・市施設にて使用済小型家電や廃食用油、古紙類・古着類の回収を行う。
- ・生活環境改善活動団体及び功労者に対する表彰制度に基づき、優良な団体及び個人に対して表彰を行う。
- ・災害時の迅速な対応が行えるよう、タイムラインの策定と、対応マニュアルの改訂作業を進める。
- ・浜松市一般廃棄物処理計画の改定作業を行う。
- ・浜松市清掃公社、全国都市清掃会議、大都市清掃事業協議会、静岡県都市清掃協議等との連絡調整を行う。

# 政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 04 南清掃事業所費

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

**理想の姿 (30年後)** ◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

**政策の柱 (10年後)** ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。  
◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。  
・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	283,723	286,774	301,206			
決算	280,528	284,776				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	195,700	206,300	205,500			
年間経費(予算又は決算+A+B)	476,228	491,076	506,706			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
ごみ収集委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績	1	4				
		目標						
		実績						

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

・一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。  
・不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り  
・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日実施するとともに、自治会等とも連携して環境美化活動に努めたことにより、地域の住環境を維持することができた。



◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—	—		506,706	301,206	24.9	4.0		6.0	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						506,706	301,206	24.9	4.0		6.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを安全、衛生的に収集運搬を行う。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S39	-	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	環境上適正な収集廃棄物の管理を実施する。再生利用可能な収集廃棄物の管理を実施する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	283,723	286,774	301,206			
	決算	280,528	284,776				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	280,528	284,776	301,206			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		195,700	206,300	205,500			
人工	正規	23.9	24.9	24.9			
	再任用(h31)	4.0	5.0	4.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	5.0	5.0	6.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		476,228	491,076	506,706			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
ごみ収集委託事業所への訪問及び 確認(ごみ収集事業)(回以上)			目標	-	4	4	4	4	4
			実績	1	4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	04	01	03	04	001541000	01	南清掃事業所	鈴木 章良	R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(南区)
- ・連絡ごみ、小型家電回収の収集運搬(中区、南区)
- ・家庭から出た剪定枝等の回収「みどりのリサイクル」事業
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・地域の環境美化活動に伴う収集運搬などの支援



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・南区の家庭から排出されたごみ・資源物を適正な処理を行った。
- ・中区、南区の連絡ごみ、小型家電の回収を行った。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールを毎日行い、住環境の環境美化に努めた。
- ・ごみ集積所の適正管理を行った。
- ・地域の環境美化活動に伴う収集運搬などの支援を行った。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・みどりのリサイクル事業について、南清掃事業所が搬入場所となっていることが周知されてきたことから、持ち込み件数が増加したが、所内の協力体制により混乱なく適正に処理することができた。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・引き続き、ごみ分別の啓発、指導や不法投棄、不当排出パトロールを行うとともに、環境美化活動団体等との連携を図り、衛生的な地域環境を維持していくための環境美化活動を推進する。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。(南区)
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

# 政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 06 平和清掃事業所費

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

**理想の姿 (30年後)** ◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

**政策の柱 (10年後)** ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。  
◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。  
○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	641,378	651,202	686,107			
決算	641,114	646,909				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	107,800	100,800	100,800			
年間経費(予算又は決算+A+B)	748,914	747,709	786,907			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4				
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)	回以上	目標	—	4	4	4	4	4
		実績	—	4				
		目標						
		実績						

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

○事業の連携強化のため、各委託事業所へ担当者が四半期ごと、所長は年1回訪問した。  
○ごみ関連機関と連携を図りながら、一般廃棄物(ごみ)の分別の徹底と減量を推進する。  
○不法投棄、不当排出対策、集積所の管理など、安全で衛生的な住環境を維持するため、環境美化活動を推進する。

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り  
○今年度から各委託事業所への訪問をはじめ、これまで以上の関係構築が図れた  
○自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に寄与することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—	—		687,641	588,241	14.0			0.5	
2	資源物処理事業	—	—	—		99,266	97,866				0.5	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						786,907	686,107	14.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
事業とゴールの 関連性	○廃棄物及び資源物の分別収集を指導徹底することにより、廃棄物の発生を抑制する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	551,332	555,711	588,241			
	決算	551,069	553,493				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	551,069	553,493	588,241			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	106,400	99,400	99,400			
人工	正規	15.0	14.0	14.0			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)		657,469	652,893	687,641			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
ごみ収集委託事業所への訪問及び 確認(ごみ収集事業)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 家庭から排出されるごみの収集運搬業務を行う委託業者に対し、衛生的かつ適正に業務を行うよう指導徹底する。
  - ・対象区域: 西区、北区
- 各委託事業所に定期的に担当者が訪問して事業所の様子を確認するとともに、年1回以上所長が各委託事業所の責任者と直接会って情報共有を行った。



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- 四半期ごとに担当者が各委託事業所を訪問することにより、これまで以上にコミュニケーションを強化することができた。
- 所長と各委託事業所の責任者が面会することで現況や情報を共有することができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- 各委託事業所への訪問を定期的に行った。
- 自治会等と連携して、ごみの分別、不法投棄ごみの回収や美化活動に努めたことにより、地域の公衆衛生の向上に繋がった。
- 令和2年度から収集の現業職員1人が減員となり、2人が天竜区の業務応援を行った。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・2年度から各委託事業所への訪問をはじめ、これまで以上の関係構築が図れたことから、3年度は受託者とのコミュニケーションの充実、責任者による受託者の業務の質が担保されているかどうかの確認を強化することによって委託業務の品質保持に努める。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。(西区、北区)
- 受託者とのコミュニケーションの充実、責任者による受託者の業務の質が担保されているかどうかの確認を強化することによって委託業務の品質保持に努める。
- 不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

# 事業シート (事業名) 02 資源物処理事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費									
事業とゴールの 関連性	資源物の適正処理を行うことにより、天然資源の合理的な利活用に繋げる。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	90,046	95,491	97,866			
	決算	90,045	93,416				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	90,045	93,416	97,866			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	1,400				
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)	91,445	94,816	99,266				

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						



#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 家庭から排出されるペットボトル及びプラスチック製容器包装の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行った。
  - ・対象区域: 中区、西区、北区
- 家庭から排出されるびん類の中間処理を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行った。
  - ・対象区域: 天竜区を除く区域
- 各委託事業所に定期的に担当者が訪問して事業所の様子を確認するとともに、年1回以上所長が各委託事業所の責任者と直接会って情報共有を行った。



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- 四半期ごとに担当者が各委託事業所を訪問することにより、これまで以上にコミュニケーションを強化することができた。
- 所長と各委託事業所の責任者が面会することで現況や情報を共有することができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- 各委託事業所への訪問を定期的に行った。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・2年度から各委託事業所への訪問をはじめ、これまで以上の関係構築が図れたことから、3年度は受託者とのコミュニケーションの充実、責任者による受託者の業務の質が担保されているかどうかの確認を強化することによって委託業務の品質保持に努める。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の管理を行う。
- 受託者とのコミュニケーションの充実、責任者による受託者の業務の質が担保されているかどうかの確認を強化することによって委託業務の品質保持に努める。

# 政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 07 浜北環境事業所費

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。  
また、不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	308,362	312,056	321,839			
決算	304,988	309,729				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	185,880	180,160	180,160			
年間経費(予算又は決算+A+B)	490,868	489,889	501,999			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績	-	4				
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績	-	4				
		目標						
		実績						

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

一般廃棄物処理基本計画に基づき、浜北区内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別収集を徹底し、衛生的に処理する。  
また、不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールや啓発活動を行い、安全かつ衛生的な地域環境を維持するための環境美化活動を推進する。

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
政策の概要に掲げる分別収集の徹底、衛生的な処理については、委託事業者の委託仕様書に基づく誠実な履行が欠かせない。それらの確認、検証等のため事業所訪問を年4回実施し、仕様書に則り、適正に業務が執行されていることを確認した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—	—		420,734	271,374	19.0	1.9		3.4	
2	資源物処理事業	—	—	—		56,561	49,561	1.0				
3	浜北環境事業所運営経費 (一般諸経費のみ)	—				24,704	904	3.2			0.5	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						501,999	321,839	23.2	1.9		3.9	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S49	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		適正なごみ収集、リサイクルの推進等が、廃棄物の発生を減少化させたり、環境上における悪影響の軽減に繋がる。							

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	263,818	266,227	271,374			
	決算	260,560	263,869				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	260,560	263,869	271,374			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		126,880	149,360	149,360			
人工	正規	17.8	19.0	19.0			
	再任用(h31)	0.4	1.9	1.9			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	3.4	3.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		387,440	413,229	420,734			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
浜北区内の家庭系一般廃棄物の内、可燃・不燃ごみの区民一人1日あたりの排出量(g)			目標	420	—	—	—	—	—
			実績	487.8	—	—	—	—	—
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 04 基本政策 01 政策 03 予算費目 07 所属コード 001547000 事業 01 (担当課) 浜北環境事業所 (責任者) 鈴木 敏 (基準日) R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜北区の家庭から排出されるごみの効率的かつ衛生的な収集運搬
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬の実施
- ・ごみ集積所の適正管理
- ・ごみ収集運搬委託業務の管理



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

委託事業所へ年間4回の訪問を実施し、仕様書に基づく適格な業務が行われていたことを確認した。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

市の受託事業者を見る市民の目は、市と同様に厳しいものがあるため、言動には十分な注意が必要である。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

職員が行っている連絡ごみの回収や排出者が自ら搬入するごみの受入業務、また、不法投棄等のパトロール、ごみ集積所の管理についても、各々のマニュアルに従い効率的に業務運営を図ることができた。受託業者が実施した収集運搬業務も概ね順調であった。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

職員による直営の業務は、従来どおりマニュアルに沿った適切な業務を継続し、効率的、効果的な作業を心掛ける。収集運搬委託業務については、委託事業所への訪問を重ね、市民の信頼を得られる業務としての一層の定着を図っていく。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 浜北区の家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。
- 不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。

# 事業シート (事業名) 02 資源物処理事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H9	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		資源物の再利用事業により廃棄物の発生を削減できる。							

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	43,847	44,248	49,561			
	決算	43,846	44,245				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	43,846	44,245	49,561			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		35,200	7,000	7,000			
人工	正規	3.2	1.0	1.0			
	再任用(h31)	3.4					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2					
年間経費(予算又は決算+A+B)		79,046	51,245	56,561			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
みどりのリサイクル受入件数 (※H30~)			目標	5500	—	—	—	—	—
			実績	5113	—	—	—	—	—
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)  
04 01 03 07 001547000 02 浜北環境事業所 鈴木 敏 R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・浜北区の家庭から排出される資源物の収集運搬
- ・スチール缶、アルミ缶等の売払い
- ・自己搬入される資源物の受入れ
- ・市民への資源物についての啓発
- ・資源物中間処理委託業務の管理



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

委託事業所へ年間4回の訪問を実施し、仕様書に基づく適格な業務が行われていたことを確認した。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

プラスチック製容器包装ごみのリサイクルには、多くの関心が集まっているため、よりの確な業務処理が求められている。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

受託業者が実施したプラスチック製容器包装、ペットボトルの資源物中間処理業務は、訪問時における確認等においても問題はなく、日本容器包装リサイクル協会の評価も高く順調であった。

また、家庭から排出され回収したスチール缶、アルミ缶量は、前年度より増加した。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

市民には、資源物としての排出啓発を継続し、中間処理委託業務については、委託事業所への訪問を重ね、市民の信頼を得られる業務としての一層の定着を図っていく。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の管理を行う。

# 事業シート (事業名) 03 浜北環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

--

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

### (3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	697	1,581	904			
	決算	582	1,615				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	582	1,615	904			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		23,800	23,800	23,800			
人工	正規	3.2	3.2	3.2			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)		24,382	25,415	24,704			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						



(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)  
04 01 03 07 001547000 03 浜北環境事業所 鈴木 敏 R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

# 政策シート 政策名 03 環境に配慮した資源循環型社会の構築

予算費目名 09 天竜環境事業所費

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 04 環境・エネルギー

理想の姿 (30年後)	◆豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。
政策の柱 (10年後)	◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。 ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

基本政策 01 環境と共生した持続可能な社会の実現

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理する。

### (3) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	314,956	309,743	306,460			
決算	310,707	307,270				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	133,800	140,900	135,100			
年間経費(予算又は決算+A+B)	444,507	448,170	441,560			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績		4				
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)	回以上	目標	-	4	4	4	4	4
		実績		4				
		目標						
		実績						

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

一般廃棄物処理基本計画により、市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底し、衛生的に収集運搬処理ができた。

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
市内で発生する一般廃棄物(ごみ)の減量、分別を徹底するように指導し、衛生的な収集運搬処理ができた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ収集事業	—	—	—		409,415	287,335	12.2	7.0		4.1	
2	資源物処理事業	—	—	—		24,058	17,758	0.9				
3	天竜環境事業所運営経費 (一般諸経費のみ)	—	—	—		8,087	1,367	0.6			0.9	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						441,560	306,460	13.7	7.0		5.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 ごみ収集事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S45	-	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

### (3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行うとともに、家庭から排出されるごみを安全・衛生的に収集運搬することにより以下のゴールを目指す。 ・廃棄物の管理に特別な注意を払い環境上の悪影響を軽減する。 ・食料の廃棄を半減させ、食品ロスを減少させる。 ・廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。							

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	296,724	292,708	287,335			
	決算	292,786	290,403				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	292,786	290,403	287,335			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	117,960	127,580	122,080			
人工	正規	13.2	13.1	12.2			
	再任用(h31)	7.1	8.8	7.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		1.5	4.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		410,746	417,983	409,415			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業)(回以上)			目標		4	4	4	4	4
			実績		4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託(天竜区)業務の適切な管理を行った。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、衛生的に適正に収集運搬を行った。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行った。

#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の委託業者に対して、4回訪問調査を行い、仕様書に定められた業務内容どおりに適切に遂行していることを確認した。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、安全に衛生的に収集運搬を行うことができた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の委託業者に対して、定期的に訪問調査を実施し、業務の遂行状況を確認した。
- ・職員を適正に配置し、直営収集業務の体制を維持するとともに平和清掃事業所及び浜北環境事業所から業務応援を受けた。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の受託者の管理を適正に行う。
- ・直営収集業務の体制を維持(職員を適正に配置)していく。
- ・新清掃工場施設整備後の収集体制見直しを進めていく。

#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託(天竜区)業務の委託業者への適切な指導を行う。
- ・天竜区佐久間地区、水窪地区の家庭から排出されるごみを、直営で収集運搬を行う。
- ・不法投棄、不当排出廃棄物の収集運搬を行う。

## 事業シート (事業名) 02 資源物処理事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

ごみ減量、資源の有効活用、環境への負荷軽減を推進するため、市民との協働による資源循環型社会の形成に取り組む。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H17	—	一般会計	自治事務(法令義務)	容器包装リサイクル法

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性		ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の管理を行い、資源物の再商品化率を上げるにより再生利用や再利用ができ、廃棄物の発生を大幅に削減できる。							

### 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	15,577	15,719	17,758			
	決算	15,577	15,719				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	15,577	15,719	17,758			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	9,520	7,000	6,300			
人工	正規	1.0	1.0	0.9			
	再任用(h31)	0.7					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		25,097	22,719	24,058			

### 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
委託事業所への訪問及び確認(資源物処理)(回以上)			目標	—	4	4	4	4	4
			実績	—	4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)  
04 01 03 09 001549000 02 天竜環境事業所 中村幸与志 R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者への適切な指導を行った。

#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者に対して、4回訪問調査を行い、仕様書に定められた業務内容どおりに適切に遂行していることを確認した。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者に対して、定期的に訪問調査を実施し、業務の遂行状況を確認した。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の受託者の管理を適正に行う。  
・ガラスびんの再資源化業務を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・ペットボトルとプラスチック製容器包装等の中間処理業務委託の委託業者への適切な指導を行う。  
・ガラスびんの再資源化業務を専門業者に委託し、資源物の適正処理を行う。

## 事業シート (事業名) 03 天竜環境事業所運営経費(一般諸経費のみ)

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

天竜環境事業所の業務を円滑に運営していく。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H17	—	一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	2,655	1,316	1,367			
	決算	2,344	1,148				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	2,344	1,148	1,367			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	6,320	6,320	6,720			
人工	正規	0.8	0.6	0.6			
	再任用(h31)	0.2	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.5	0.9			
年間経費(予算又は決算+A+B)		8,664	7,468	8,087			

### 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						



(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)  
04 01 03 09 001549000 03 天竜環境事業所 中村幸与志 R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。
- ・事業所内の計量施設等の維持管理。

#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)



##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

#### 6 事業の見直し (Action)



##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



- ・予算、庶務等に関する一般的な事務の実施。
- ・周辺住民との連絡調整の実施。
- ・事業所内の計量施設等の維持管理。